

平成30年度 日本薬剤師会学校薬剤師部会全国担当者会議 参加報告

千葉県学校薬剤師会
副会長 藤波宏忠

日時：平成 31 年 2 月 13 日（水）13：30～16：30

場所：日本薬剤師会第1・2会議室

今回参加した全国担当者会議において、学校薬剤師活動に関する講義が行われ、その後活動報告や今後の予定について連絡が行われた。

最初の講義として、「学校薬剤師活動等に関する最近の話題」として、文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課健康教育調査官の小出彰宏氏より、大麻の問題や最近の通知などの紹介がなされた。薬物乱用の問題として、覚せい剤は近年減ってきているものの、大麻はあまり減っておらず、30歳未満の若年層での使用が目立っている。そのため、学校で大麻の危険性や、誤った認識を正すなどの教育が大切となる。米国コロラド州では大麻合法化により、交通死亡事故の中での大麻陽性反応者が右肩上がりで見られていることや、そもそも大麻合法化は未成年者の乱用やブラックマーケット対策として行われており、使用率がもともと低い日本とは事情が異なることなどが紹介された。最近の通知では、薬品管理について、平成31年1月に警察庁より爆発物原料の管理について依頼があったことや、室内空气中化学物質の室内濃度指針値の改訂について説明がなされた。室内濃度指針値については、学校においては現在のところ基準の変更は無く、検討中とのことであった。また、デジタル教科書について平成31年4月より活用開始となるが、あくまでも紙の教科書が主であり、活用する場合は照度に注意するよう案内があった。

2番目の講義として、「スマホと子ども～学校薬剤師に期待されること」として、予防医療研究所代表 藤田保健衛生大学客員教授の磯村毅氏より、スマホやゲーム依存による子どもへの影響について、最近の知見が紹介された。電子機器の使用を幼少期より行っていると、前頭葉の活動が活発化せず、発達しない可能性が考えられ、スマホやゲームは使用させないなどの対策をすべきとのことであった。

3番目の講義として、「学校健康教育の最新の動向と学校薬剤師に期待すること」として、日本医師会総合政策研究機構主任研究員の和田勝行氏より、学校保健とは・学校保健の法令上の位置づけなどの講義が行われ、今後学校保健において三師会でのどのような連携が期待されるか、各地での活動例などを通じて解説され、学校薬剤師への期待が寄せられた。

講義に続き、「麻薬教育の意義と活動」として、日本緩和医療薬学会麻薬教育認定委員会委員長の中川貴之氏より、麻薬教育のリスクとベネフィットについて説明が行われた。

その後、「今後の学校薬剤師部会の活動等について」日本薬剤師会学校薬剤師部会部会長の村松章伊氏より報告が行われた。また、「平成30年度全国学校保健調査結果（速報値）について」日本学校薬剤師部会副部会長の清水大氏より説明が行われた。

質疑応答として、小出調査官より下記の通り回答があった。

Q：私立の学校や、認定こども園における学校薬剤師の配置状況は？

A：設置義務があり、きちんと責務を果たせる薬剤師を配置しなければならない。文科省として、今年もこども園の会議等へ参加し、学校薬剤師のPRを行ってゆく。

Q：次亜塩素酸水等の消毒について、使用して良いものか？

A：消毒のデータ等が少ないが、施設管理を行いインフルエンザ罹患率を下げたとの報告もある。

Q：照度の上限はあるのか？

A：まぶしすぎることについての上限値は設けられていない。照度比や、実地でのまぶしさを確認し、現場に合った対応を行って欲しい。

Q：ホワイトボードやICT機器の反射はどのように管理したら良いか？

A：ホワイトボードの維持管理の注意はマニュアルに盛り込んだが、反射によるまぶしさについては明確な規定は無い。

新任学校薬剤師研修会開催のお知らせ

学校薬剤師 各位

千葉県学校薬剤師会

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度本会では、下記要領にて標記研修を開催致します。

参加をご希望の方は、下記に必要事項ご記入の上、4月12日（金）までにFAX（043-248-0646）にてお申込み下さいますようお願い申し上げます。

記

開催日：平成31年4月21日（日）10：00～13：00（受付9：30～）

場 所：千葉県薬剤師会 会議室

[講習内容]

1. 「学校環境衛生における各検査項目の解説等について」
2. 「検査機器を用いての測定方法の解説」

※本研修は新任の方に向けた研修内容となっておりますが、ご興味のある学校薬剤師にも参加いただけます。

※本会の会員でない方は、参加費として3,000円を徴収させていただきます。

（但し、平成31年度より学校薬剤師となる方を除く）

※本研修は（公財）日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師受講シール対象研修となります。

----- 切らずにFAXして下さい -----

「新人学校薬剤師研修会」参加申込書

支部名： _____ 支部 担当校名： _____

氏 名： _____

申込締切：平成31年4月12日（金）

FAX：043-248-0646